週報 W RAPID *Weekly Report on Aomori Prefecture Infectious Disease*

青森県感染症発生情報　（2008年第28週）

発行　青森県感染症情報センター（2008年7月18日）
（青森県環境保健センター：担当　微生物部）
TEL 017-736-5411、FAX 017-736-5419
青森県環境保健センターホームページ
http://www.pref.aomori.lg.jp/eiken/index.html

Ⅰ　第28週の発生動向（2008/7/7～2008/7/13）

1. **咽頭結膜熱については**、東地方+青森市保健所管内において2007年第45週から、むつ保健所管内では、2007年第48週から**警報**が続いています。
2. **ヘルパンギーナについては**、上十三保健所管内において、第24週から**警報**が続いています。

Ⅱ　第28週五類感染症定点把握

注：五類感染症定点把握疾病の警報・注意報については、二次保健医療圏単位で判定しています。

	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数	東地方(再掲)		青森市（再掲）	
疾患番号・疾患名	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	(前週からの増減)	数	定点	数	定点
(85) インフルエンザ															-6				
(74) RSウイルス感染症									1	0.17			1	0.02	1				
(75) 咽頭結膜熱	12	1.33	8	0.89			1	0.20	7	1.17	3	0.75	31	0.74	3			12	1.50
(76) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	19	2.11	4	0.44	6	0.67	2	0.40	5	0.83	5	1.25	41	0.98	4	1	1.00	18	2.25
(77) 感染性胃腸炎	16	1.78	12	1.33	4	0.44	7	1.40	12	2.00	24	6.00	75	1.79	-3	10	10.00	6	0.75
(78) 水痘	10	1.11	13	1.44	27	3.00	10	2.00	15	2.50	13	3.25	88	2.10	-1			10	1.25
(79) 手足口病	2	0.22	2	0.22	1	0.11							5	0.12	3			2	0.25
(80) 伝染性紅斑					3	0.33			2	0.33	1	0.25	6	0.14	-2				
(81) 突発性発しん	6	0.67	1	0.11	3	0.33	1	0.20	5	0.83	6	1.50	22	0.52	-8	1	1.00	5	0.63
(82) 百日咳							2	0.40					2	0.05	2				
(72) 風しん	平成20年1月1日から全数把握疾患に移行しました。														0				
(83) ヘルパンギーナ	28	3.11	17	1.89	8	0.89	1	0.20	17	2.83	19	4.75	90	2.14	32	1	1.00	27	3.38
(73) 麻しん	平成20年1月1日から全数把握疾患に移行しました。														0				
(84) 流行性耳下腺炎	4	0.44			3	0.33			1	0.17	1	0.25	9	0.21	2			4	0.50
(86) 急性出血性結膜炎															0				
(87) 流行性角結膜炎	3	1.50											3	0.27	-5			3	1.50
(95) マイコプラズマ肺炎			1	1.00	5	5.00					2	2.00	8	1.33	2				

定点数

保健所名	インフルエンザ（内科+小児科）	小児科	内科	眼科	基幹
東地方	2	1	1	0	0
弘前	15	9	6	3	1
八戸	14	9	5	2	1
五所川原	7	5	2	1	1
上十三	9	6	3	2	1
むつ	6	4	2	1	1
青森市	12	8	4	2	1
合計	65	42	23	11	6

■は警報　　■は注意報　　「空欄」：患者発生数0

Ⅲ　表Ⅱ以外の感染症法対象疾患　（注：届出数は**速報値**です）

（9）結核（二類全数把握疾患）：弘前2人、八戸2人、上十三2人、青森市2人　（20年計：276人）
（64）後天性免疫不全症候群（五類全数把握疾患）：弘前1人　（20年計：3人）
（68）梅毒（五類全数把握疾患）：むつ1人　（20年計：1人）
（73）麻しん（五類全数把握疾患）：弘前1人　（20年計：60人）

感染症の窓

表　届出数推移（1999-2008年第28週）

	全国	青森県
1999	751	4
2000	759	3
2001	585	2
2002	575	2
2003	509	1
2004	533	1
2005	559	2
2006	305	3
2007	382	3
2008（28週現在）	226	1

（人）

梅　毒

梅毒は、スピロヘータ（らせん状の細菌）の一種である梅毒トレポネーマ（*Treponema pallidum*）を病原体とする感染症です。全国的には、減少傾向にありますが、2006年以降300人以上の届出数があり、本県は、年間1人から4人の報告数です。

潜伏期間は、3週間前後です。
症状は、第1期から第3～4期に分かれています。
1期：痛みの無いしこり～潰瘍形成など。
2期：皮膚の変化（発疹、乾癬など）、リンパ節の腫れ
3期：
4期：　}　脳や中枢神経へ拡がりますが、抗生物質の開発などにより、現在では、あまり見られません。

治療は、泌尿器科または、性病科等において、抗生物質の内服や注射により行います。